

令和 7 年 度

教 育 委 員 会 定 例 会 （ 8 月 ） 議 事 録

四 條 畷 市 教 育 委 員 会

1 開催日時・場所

令和7年8月27日（水）10時00分から10時25分まで

四條畷市役所 東別館3階 302会議室

2 出席委員

教 育 長	木村 実
教育長職務代理者	山本 博資
委 員	佃 千春
委 員	尾崎 靖二
委 員	佐々木 弥生

3 事務局出席者

学 校 教 育 部 長	阪本 武郎	社 会 教 育 部 長	西尾 佳岐
教 育 総 務 課 長	古市 靖之	社会教育部次長兼スポーツ・青少年課長	神本 かおり
教 育 総 務 課 長 代 理	荒堀 涼	社会教育部副参事兼文化・公民館振興課長	賀藤 久道
学 校 教 育 課 長	胡 健太	兼 公 民 館 長	
学校給食センター所長	谷口 直人	文 化 財 課 長	西岡 充
教育支援センター長兼		文化財課長代理兼主任	實盛 良彦
学校教育課指導担当課長	金子 摂	図 書 館 長	田中 学
		社会教育部上席主幹 （文化・公民館担当）	太田 由美子
		兼図書館主任兼田原図書館 主 任	

4 議事録作成者 教 育 総 務 課 花田 僚助

5 付議案件

報告 第16号	四條畷市学校給食費に関する規則の一部を改正する規則の制定について
その他報告	学校再編後の一定年数経過における検証の進捗について

木村教育長	只今から8月の教育委員会定例会を開催します。会議の成立状況について、事務局から説明をお願いします。
古市教育総務課長	本日の教育委員会定例会は、教育長並びに教育委員全員のご出席をいただいています。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定に基づき、本日の会議が成立していることを報告いたします。
木村教育長	それでは、四條畷市教育委員会会議規則第5条第2号の規定に基づき議事録署名者の指名を行います。本日の議事録署名者は佀委員をお願いします。 それでは議事に入ります。報告第16号 四條畷市学校給食費に関する規則の一部を改正する規則の制定についてを議題といたします。事務局から本件の内容説明を願います。
谷口学校給食センター所長	報告第16号 四條畷市学校給食費に関する規則の一部を改正する規則の制定についてでございます。 7月の定例会におきまして、報告第11号で説明いたしました補正予算に係る事業につきまして、エネルギー、食料品価格の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を通じた地方創生を図るため、国から地方公共団体へ交付される「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、10期に分けてお支払いしていただいている年間学校給食費のうち、第4期（9月分）及び第5期（10月分）の2期分を無償化することで、子育て世帯に対する支援を推進すべく、四條畷市学校給食費に関する規則を改正いたしましたので報告するものでございます。 それでは内容につきましてご説明いたします。 新旧対照表をご覧ください。 今回の改正では附則の第4項として、「令和7年度の学校給食費の徴収に関する特例」を追加し、令和7年9月末日及び10月末日を納付期限とする学校給食費については、徴収しないことと決めました。 なお、この規則は令和7年8月6日から施行しています。 以上、報告第16号の説明でございます。
木村教育長	本件について、質疑等ございましたらどうぞ。 （ 「なし」 の声 ）
木村教育長	それでは、その他の案件に移ります。 学校再編後の一定年数経過における検証の進捗について、事務局から説明をお願いします。

古市教育総務課長	学校再編後の一定年数経過における検証の進捗について、2点ご報告いたします。 まず、8月18日に市議会議員に対して第1回中間報告会を開催し、先月の教育委員会定例会でご説明しました内容と同様の報告を行いました。 当日は、市長部局との連携や今後のスケジュール、資料の見やすさなどについて、ご意見いただきました。スケジュールについては、今後実施予定のアンケートの結果をとりまとめた後、改めて次回の報告会を開催する予定であることをお伝えしました。 次に、アンケート調査の内容と今後の予定についてご報告いたします。 本日、机上に配布しておりますアンケート（案）をご覧ください。内容としては、現状の通学距離や適正な学級数、魅力ある学校とはなどといった設問を設定するものです。 実施時は電子フォームを用いる予定ですが、本日は紙媒体での内容確認をお願いします。対象は、児童生徒、保護者で、いずれも個人が特定されないよう配慮し、学校名や学年を選択する形式にしています。 児童生徒向けのアンケートは、学校生活、学校施設、学校規模等に関する設問で構成しており、子どもたちの今の学校に対する気持ちを把握することを目的としています。 保護者向けのアンケートは、学級数や通学時間、保護者視点から見た魅力ある学校とは何かといった点を中心に、現在の課題と今後の期待を伺う設問としています。 なお、教員向けのアンケートは、内容を検討のうえ、追って実施する予定です。 今後の予定としては、明日の校長会でアンケート実施への協力依頼を行い、9月中の実施予定、10月の定例会で速報として結果についてご報告する予定です。
木村教育長	本件について、質疑等ございましたらどうぞ。
山本教育長職務代理人	アンケートを9月の実施予定ということで、このアンケートは、この間、取り組んできた学校再編の検証のためのアンケートと認識をしています。小学校、中学校の児童生徒、教職員、それから保護者、特に嚙小学校あるいは南小学校の保護者には念を入れたアンケートとなり、さらに地域の住民等にも、なんらかの形で検証のために、アンケートで意見をいただくというようなことになっていると思います。 そうしますと、児童生徒への学校生活のアンケートと学校施設のアンケート、これから整備をしていくためには、学校施設に関する子どもや保護者の意見を聞くということは非常に重要なことですので、アンケートは必要なことと思っています。

(山本教育長職務 代理者)	ただ、今回この9月に実施されるアンケートについては、意図がこれで果たして学校再編の検証ができるのかと少し気になっています。 したがって、学校再編のアンケートをするのであれば、もう少しアンケートの意図を明確にして、今こういう取組を行い、こういうところまで進んでいる。その中で皆さんの意見を聞きたいという形の文書を作っていただく必要があると思いますし、もう1つ内容的に、これで果たして東小や南中の廃校、啜小と東小、啜中と南中を統合したことの検証になるのかは疑問が残ります。
佃委員	アンケートを見させていただきました。アンケートというものは行うための目的の明確化は必ず必要であると思います。 この度のアンケートも皆さんが学校生活の中でどのように感じているかを確かめるものだと書いてあるのですが、その前に聞き方は難しいですが、学校再編後の関係する皆さんの思いを今後の施策に活かすためとか、そういう目的を明確にして、児童生徒の皆さんや保護者関係の皆さんにアンケートをとるべきだと思っております。 子どもたちへのアンケートの中で、「学校が楽しいですか」とか大事だと思うことを聞くことはいいと思いますが、「友達とうまくやれていると思うか」とか、突っ込んだ質問は「全く思わない」という否定的な回答をした子どもたちについてそのあとの心配も生じますし、どこまでとるのかということについて、もう少し議論が必要と思いました。 それから、施設に関するアンケートのところですが、2番の各施設の利用状況の中で、最も子どもたちが一番1日を過ごす普通教室についての質問がなく、入れるべきではないかと思いました。 次のページの5番の学年全体の人数はどのくらいがいいですかというところについて、子どもたちがどこまで学年全体の規模について考えが及ぶのかとか、関心を持つことができるのかというのは、小学校5、6年生ではどうなのかと思います。 最後に、施設の中でという保護者アンケートの頭に優先順位の高いものを3つ以内で選択してくださいという中に、特別支援教育の充実というか、支援教育の観点がないように見受けられたため、入れていただいた方がいいかと思いました。
尾崎委員	私もこの目的性というのは大事であるのは2人の委員がご指摘なさっているとおりだと思います。 今更ながらの質問で恐縮ですが、このアンケートの対象は全小中学校の児童生徒でしょうか。
古市教育総務課長	アンケートの対象といたしましては、全小学校の5、6年生の児童及び全

(古市教育総務課
長)

尾崎委員

中学校1年生から3年生までの生徒となります。

そうしますと、単純に学校再編ということだけにとらわれない、閉じこもっていないような趣旨のアンケートと目的性からとらえることができるなと思っています。

特に、学校生活のところは先ほど他の委員のご指摘もありましたように少し不適切なものもあるかなと私も思います。学校施設に対するアンケートのところに「学校の中で使いやすいと思う施設」というアンケート項目がありますが、それだけではなくて、使いやすいと思う施設の選択は難しいと思います。単に使いやすいのを選ぶだけではなくて、なぜそこを使いやすいと思っているのかという理由を書いてもらう、また、逆に、使いにくいと思う施設はどこなのかというようなことをアンケート項目に入れて、さらにその理由を記述してもらうと、教職員等から、あるいは施設担当からそういうことは日々検証されていると思っていますが、子どもの視点から見た場合どうなのかと、単に学校統廃合だけではなくて、学校の施設、設備をどう改善していくのかという大きな目的性から見て非常に大事な視点かと思っています。

子どもの視点から様々なことを考えるというのは、子どもの権利条約でも謳われておりますし、そういったことも大事かと思っていますので、1つの目的性の中に、単に統廃合だけではなくて、施設、設備をどう改善していくかということを、組み込んだアンケートとして今申し上げたような、使いやすい、あるいは使いにくいを選択式ではなくて、記述式で子どもたちに書かせてはどうか、その際には理由も書かせてはどうかと思います。

したがって、括弧付きの2番の各施設が多くある施設の中からピックアップされて選ばれておりますが、これは特にアンケートをとる際に、強い意図がなければ、なくてもいいのではないかと思います。

先ほど申し上げたようなアンケートの形態になりましたら、組み込んでいとなると考えられるため、必要ないのではないかと思いますのでご検討ください。

併せて、自由記述の16番も同趣旨でありますので、これもそういうアンケートの形態が実現しましたら、不要ではないかと思っております。

保護者アンケートですが、様々なことで恐縮ですが、文言として前文にあります「このアンケートはお子さまの通われる学校における」というこの表現については、誤解も招く可能性もございますので、お子さまの通われているというように直される方がいいのではないかと思います。ご検討ください。

3番めの「学年の学級数はどのくらいが良いですか」ということ、それから5番めの「通学時間はどれくらいですか」というようなことについては、これは文科省の一定のめやすというようなものが示されておりますので、こういうことについては保護者に対して周知をするのか、しないのか、そういうものを記載しないままアンケートをおとりになる方が、その目的性に適っ

(尾崎委員)	ているのかということはご検討いただきたいと思います。 その上で、5番の「通学時間はどれくらいですか」については、事実の把握ですので、この後にこの事実把握に基づいて、次のアンケートに資するために、今一度、保護者の方にご確認いただきたいと思いますという趣旨でこれを答えていただくのはよいかと思いますが、次がないので、これは事実ですので、むしろ教育委員会事務局が一定把握している内容ではないかと思われるのではないかと思いますので、ここのアンケート内容は変えていただけたらと思います。例えば、どのようにすればいいかと申しますと、「通学時間はどれくらいまでだったらいいですか」というように上限を聞くということがアンケートの意図に沿うのではないかと思います。あるいは「通学時間はどれくらいですか」というような今の設問をそのままにするとすれば、その次の通学時間に関わる設問として、「通学中に子どもさんに心配なことはありますか」というようにつなぐとするならば、時間を保護者に把握いただくということは、一定の理由があるかと思います。ただし、これがアンケートをとる際の意図に沿うものであるかどうかについてはご検討いただきたいと思います。
佐々木委員	私は保護者でもありますので、回答する立場でこのアンケートを拝見させていただきました。 学校からのアンケートをいくつか何かあるごとに送られてきて、回答することに出会うわけですが、アンケートを受け取ったときは、先生が何を聞きたいのだろうなというアンケートの重要度とか、これは私が答えたいものとか、その最初の説明文で今かな、後回しかなというところがあります。他の委員のご意見でもありましたとおり、アンケートの目的の明確化であったり、保護者だけではなくて、小学校5年生、6年生、中学生といえ自分の意見をしっかり持って出す場というのがあることはとてもいいなとアンケートを見させていただいて感じました。 ですので、子どもにも併せて大人はこういうことを考えて、その部分であなたたちの意見を聞きたいんだよということを説明の上で回答してもらおうと、子どもに育まれるものであったり、後に結果を共有したときに見えてくることや、子どもたちにとってもいい学びの要素が含まれるのではないかと思いますので、アンケートの目的であったりとか、保護者であれば、回答率を上げるための説明であったりとかがあるといいなと思いました。 あともう1点ですね、保護者アンケートの部分で、目的が明確化されると保護者が回答しやすくなるかと思うのですが、例えば教室の広さの設問についてですと、この学年の時はぎゅうぎゅうで不安だったけれど、最近はほどよいとか、子どもによって見え方がとても違うのですね。 ですので、その辺りの何が聞きたいのかというところが回答者側にわかるといいなということと、よりそれが明確になり回答率が上がったり、保護者の皆さんがそれで見えてきたりするのかなと感じました。

木村教育長	他の皆さまよろしいでしょうか。 それでは事務局の方からお願いします。
古市教育総務課長	委員方々からご意見いただき、大変ありがとうございます。いただいた意見を反映した上で再考をし、委員方々に共有をさせていただき、その上でアンケート実施に移っていきたいと考えております。
木村教育長	学校再編の検証ということなので、その検証、これまでの取組がどうであったかということをしっかり明確にできるように、工夫をして行っていけばいいと思います。委員の皆さまありがとうございます。 この件につきましてよろしいでしょうか。 (「なし」の声)
木村教育長	それではその他にございますか。
古市教育総務課長	その他の報告といたしまして、市ホームページ及び市広報誌にも掲載されておりますが、10月に地域の皆様と市長が1つのテーマについて意見交換を行う地域と市長の対話会が開催されます。第1回のテーマは教育です。全3回にわたり、市内の3中学校を会場に、いずれも平日の午後6時半から開催ということになります。教育をテーマとするため、意見交換会には教育長、並びに教育委員会事務局も出席することになりますので、お知らせをいたします。
木村教育長	本件について、何かご質問等ありましたらお願いします。 (「なし」の声)
木村教育長	10月の開催になりますので、11月等の定例会で何らかの形でこうでしたという報告は私の方からさせていただけたらと思っておりますので、よろしくお願いします。 他にございませんでしょうか。
尾崎委員	昨日から2学期が始まりましたが、子どもたちの様子を教えてください。 例えば新型コロナウイルス感染症についても、一定また感染が広がっているという話も聞きますし、学校に行きづらい子どもたちもいると思いますので、細かくは結構ですので、全体的な市内の学校の様子について教えてください。

金子教育支援センター長兼学校教育課指導担当課長	先日始業式が始まりまして、すべての学校において子どもたちの状況を把握することができました。 また、学校の様子につきましては、少し残暑厳しい中ではありますが、子どもたちも元気に、外で遊ぶ様子も見られるということでご報告いただいております。
尾崎委員	ありがとうございます。
木村教育長	私も昨日、南小に朝行かせていただき、今日は畷小の方に行かせていただいたのですが、夏休みの工作や作品を手に持ち、水筒をかけながら、友達と久しぶりに会えることでのこにこしている子もいれば、元気よく挨拶する子もいました。ちょっと疲れているなという子もいました。校長先生とも少し意見交換をさせていただき、その2校についてはいいスタートを切れましたと報告を受けています。 その他、よろしいでしょうか。 (「なし」 の声)
木村教育長	それでは本日予定の案件審議はすべて終了いたしました。 これをもちまして定例会を閉会いたします。 ありがとうございました。

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和7年9月24日

四條畷市教育委員会教育長 木村 実

四條畷市教育委員会委員 佃 千春